

女性のつながりサポート事業【糸満市】

総事業費	5,470 千円
交付金額	4,102 千円

地域の実情と課題

本市の産業分類では、第三次産業の比率が高く増加傾向にある。男女別産業構造分類就業者では、男性は「建築業」、「卸売・小売業」となっており、女性は「医療・福祉」、「卸売・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」が多くなっている。正規雇用の割合では男性：5割、女性：3.5割、また非正規雇用の割合でも男性：1.5割、女性：5割となっており男女の差が生じている。

事業の特徴

NPO法人による

- ①経済的な理由による生理用品の購入が困難な方への支援。
- ②就労やDVなど様々な不安を抱える女性への相談に応じるため、電話やメールでの相談機会の提供（必要に応じてアウトリーチも実施）。
- ③孤独や孤立の状態にある不安を抱える人に対して、ピアサポートのための居場所提供。

事業の効果

電話・メールによる相談件数（目標500件・実績314件）、生理用品の配布件数（目標400件・実績264件）は目標値を下回った。しかし、来所・訪問による相談は470件実施し、昨年より件数を増加させており成果がみられた。

ピアサポート交流会については、今年度は国際交流女性会を通じ市内在住外国人女性向けにも開催し、幅広い属性へ対応することができた。

生理用品等の設置についても市内の公共施設や学校以外にもこども食堂や児童発達支援施設など幅広く設置することができた。

目的・目標

NPO法人の知見やノウハウを活用し、孤独・孤立・自殺対策などの未然に防ぐための支援を実施する。

コロナ禍や物価高騰、解雇などの要因による生活や仕事への不安や閉じこもりから起こるDV被害、子育てや介護など、女性が抱える困難や不安の解消を図る。

【目標】相談件数500件 生理用品提供数400件

【実績】相談件数314件 生理用品提供数264件

連携団体

委託先「NPO法人 子育て応援隊いっぽ」

拠点型こどもの居場所整備事業や小規模保育所事業、ファミリーサポート事業などで培った経験を生かし、生理用品の配布、電話・メール相談のほかに訪問相談、ピアサポート等を実施。

個々の悩みに応じて糸満市マザーズスクエアいいまある、くらしのサポートセンターきづき（社会福祉協議会）など支援機関に繋ぎ支援を行った。

今後の課題

困難を抱える女性をどのように掘り起こすかが課題となっている。

市の広報誌への掲載や公共性の高い機関を通じたパンフレットの配布、生理用品配布をととした事業内容の周知を強化していきたい。

パンフレットや生理用品の配布場所の拡大を検討し、支援が必要な女性が相談に繋がるよう継続して取り組みたい。

さらに、地域の実情に詳しい自治連絡員や民生委員などにも協力を求め、悩みを抱えている女性に対し相談につなげて支援を拡大していきたい。

女性のつながりサポート事業



【事業概要】

不安を抱える女性支援のためNPO法人を窓口として、相談・訪問支援、居場所の提供を行う。

糸満市

委託

NPO法人 子育て応援隊いっぽ

【業務内容】

- ①電話・メール相談
- ②来所・訪問相談
- ③生理用品の配布
- ④ピアサポート相談
- ⑤カウンセラー等専門相談

必要に応じて、支援機関
いいまある（ひとり親家庭生活支援）、
きづき（自立相談支援・就労訓練事業 他）
等へ繋ぐ。

【協力施設】※生理用品等の提供場所

- ・小中学校・高校（17校）
- ・保育施設（13施設）
- ・子育て支援センター（2か所）、
- ・児童館（2箇所）、
- ・障がい者地域活動支援センター
- ・児童デイサービス（2箇所）
- ・子どもの居場所
- ・公共プール
- ・市役所、社協 等



ピアサポートの様子